

KOCHI TECHNICAL HIGH SCHOOL



# 会報

No.59号

令和2年2月

高知県立高知工業高等学校同窓会

創立者像

## 令和 2 年度同窓会総会のご案内

日 時：令和 2 年 4 月 29 日(水) 昭和の日  
受付：午後 3 時

場 所：ザ クラウンパレス新阪急高知 3 階  
〒780-8561 高知県高知市本町 4-2-50  
TEL：088-873-1111

日 程：15：30 開会行事・総会  
16：30 講演 加賀 隼人 氏（平成 10 年工業化学科卒）  
17：30 卒業半世紀（昭和 45 年卒）記念写真撮影  
17：45 卒業四半世紀（平成 7 年卒）記念写真撮影  
18：00 懇親会（会費：7,000 円）

- ◇ 半世紀（昭和 45 年卒）・四半世紀（平成 7 年卒）の方は別途ご案内致します。
- ◇ 令和 2 年 3 月卒業生及び本年に成人式を迎えられた方の会費は要りません。

出席予定の方のみ **3 月 30（月）** までに同窓会へご連絡をお願いします。  
同窓会ホームページの下記 URL からもお申込が出来ます。

<http://kthsdosu.org/soukai/soukai.html>



## 令和2年度 総会講演講師 プロフィール

加賀 隼人 氏 (平成10年工業化学科卒)  
ストロングポイント株式会社 代表取締役社長

### 演題 : 存在意義の実感を求めてチャレンジする

高知工業高校から経営コンサルタント業界に入っていく人は少ないと思います。

そして、同世代では起業する人も少ないです。今振り返ると高校生の時は全く考えてないキャリアでした。ただ、『何かの役に立ちたい』と思い、キャリアを積んできました。人生を振り返るにはまだまだ取るに足りないと思いますが、様々なチャレンジの原動力は『存在意義』の重要性に気が付き、常に『存在意義のある仕事をしたい』を願い行動してきた結果だと思っています。まだまだ浅い経験ではございますが、経営コンサルタントとして経験させていただいたこと、企業経営者としての失敗事例をご紹介します。

#### ★ 略 歴

1998年 高知県立高知工業高校工業化学科卒、太平洋セメント株式会社（旧日本セメント）入社

1998年 日本セメント卒業

2000～2002年 日本分析化学専門学校入学・卒業

2002～2004年 新興化学工業入社・卒業

2004年 デロイト・トーマツグループ入社

2012年 トーマツ・イノベーション名古屋支社長就任

2013年 トーマツ・イノベーション大阪支社長就任

2015年 デロイト・トーマツグループ卒業

2015年 ストロングポイント株式会社創業

2019年 四国・九州で事業展開中

#### ★ 共 著

「上司のすごいしかけ」(11万部)「上司はひと言」(3万部)「仕事の5力」(12万部)

「伸びるしかけ」(5万部)「図解、会社が劇的に変わったすごいしかけ」(10万部)

#### ★ 講演実績

日本能率協会・大阪、神戸商工会議所・愛知県経営者協会・中小企業基盤整備機構・中国銀行

香川銀行・百十四銀行、第四銀行、知多信用金庫 播州信用金庫など

外部講演実績多数あり[外部講演実績100回以上、研修講師実績400回以上]

# 目 次

## [令和2年度同窓会総会のご案内・講演講師ご紹介](#)

<a href="#">ご挨拶</a> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
<a href="#">同窓会会長・校長</a>	
<a href="#">卒業半世紀</a> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
機械科	
<a href="#">卒業四半世紀</a> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
インテリア科	
<a href="#">記念講演より</a> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
<a href="#">会員便り</a> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
支部便り・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
<a href="#">東京支部・静岡支部・東海支部・大阪支部</a> <a href="#">安芸支部・物部川支部・嶺北支部・幡多支部・青年部</a>	
<a href="#">開校記念ゴルフ大会のご報告・ご案内</a> ・・・・・・・・・・・・・・・・	17
<a href="#">『工業、富国、基』読書感想文表彰</a> ・・・・・・・・・・・・・・・・	18
母校だより	
<a href="#">進路指導部より</a> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	19
<a href="#">進学指導部より</a> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20
企画・情報部より・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22
<a href="#">男子U17ソフトボール日本代表に選出・全国高等学校インテリアデザイン展受賞</a> <a href="#">平成30年度課題研究発表会について</a>	
<a href="#">部活動の成績、部活動紹介</a> ・・・・・・・・・・・・・・・・	26
<a href="#">定時制だより</a> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	30
<a href="#">本部より</a> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	31



## 同窓会活性化への思い



同窓会会長 右城 猛（昭和 45 年土木科卒）

同窓生の皆様におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。平素は同窓会の活動にご支援ご協力を賜り誠にありがとうございます。

私は、平成 31 年 4 月 29 日の同窓会総会で会員の皆様のご承認をいただき、第 12 代目の会長に就任しました。昭和 45 年に土木科を卒業し、徳島の建設コンサルタント会社を経て昭和 61 年に株式会社第一コンサルタンツに入社しました。平成 19 年からは代表取締役社長に就任しています。

平成 24 年からは包國勝前会長の下で 1 期 2 年間理事、2 期 4 年間は副会長を務めて参りました。包國前会長は、高知工業高校の校長を経験していただけたに、母校を発展させるには何をすべきかをよくご存じでした。同窓会を活性化させたいという情熱に溢れていました。ジュニアマイスター顕彰制度への資金援助、学校管理バスの支援、ホームページの開設、物部川支部の創設、青年部の創設など多くの成果を残されました。

包國前会長の足下にも及びませんが、これまでの方針を引き継ぎ、同窓会の運営に尽力して参る所存でございます。

同窓会はどこも同じようですが、当同窓会もご多分に漏れず参加者が毎年減少しています。若者の参加者が少ないという問題もあります。

母校の卒業生は、平成 31 年 3 月 31 日時点で 29,995 人になりました。約 3 万人です。このうち、同窓会の名簿に住所が記載されている会員数は約 17,000 人です。平成 31 年度の同窓会総会への出席者数は 268 名でした。出席率はわずか 1.6%です。なんとも寂しい数字です。

同窓会を活性化させる方策として、常任役員会で取り組んでいることが 3 つあります。常任

委員会は、名誉会長(学校長)、会長、副会長、監事、事務局長、事務局次長で組織されています。

1 つは、同窓会会員名簿の復活です。平成 23 年度の理事会で廃止が決められ、平成 24 年度以降は名簿の発行がされていません。

総会出席率が低い原因に名簿がないことがあります。同級生を誘うとしても住所や電話番号がわからず連絡の取りようがないというご意見をよく聞きます。また、名簿があれば災害発生時の安否確認にも役立ちます。

名簿を発行すると個人情報が悪用されるというリスクはありますが、会員一人ひとりに管理の徹底をお願いし、リスク回避をすることで対応すべきと考えています。そのためには会員の皆様の同意をいただかなければなりません。

2 つ目は、卒業生への襟章の贈呈の復活です。同窓会の経費を節約する目的で廃止していますが、会員の皆様の協力を得て資金を確保し復活させたいと考えています。

卒業するときに生徒全員が終身会費を納め、同窓会に入会しています。襟章は同窓会会員の証です。襟章を付けることによって同窓会会員としての誇りと仲間意識が育まれると思っています。

3 つ目は、ホームページや SNS を通じて、同窓会の活動状況、同窓会の魅力を積極的に発信していく予定です。それによって同窓会に参加すれば楽しい、有意義な情報が得られる、仲間が増えるなどのメリットがあることを会員に伝えたいと考えています。

これからの 2 年間、会員の皆様のご意見、お力添えをいただけて精一杯務めて参る所存でございます。どうかよろしく願いいたします。



## ご挨拶（校長）



校長 横畑 健（昭和53年情報技術科卒）

同窓生の皆様におかれましては、ますますご健勝にてご活躍のことと存じ上げます。また、日ごろから本校の教育活動の充実・発展のためご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

同窓生の皆様がそれぞれの地域・職場でご活躍されながら、母校に対しても気に掛けていただき、ありがたく、感謝しております。

本年度は、伝統の文化祭を10月13日（日）に開催いたしました。本来でしたら、前日の12日からの開催予定でしたが、台風19号の影響でやむを得ず1日みの開催となりました。高知工業でしかできない文化祭を目指して取り組みや準備を進めていたところで、非常に残念な思いもありましたが、生徒たちは2日間の内容を1日に凝縮して大変中身の濃い充実したものにしてくれました。来場者の方からも“工業高校らしい興味深い素晴らしい内容でした”などの感想もいただきました。一方運営上のことなどでご意見もいただくなどしており、次回の文化祭への改善事項と受け止めております。

5月4日の本校開校記念日に対する在校生の意識を高め、意義深いものとするため、創設者の工業教育に対する高い理念に基づき開設された、早稲田大学の先生方に様々な工学に関する内容をご講演いただく同窓会共催の開校記念講演会は、5月7日に創造理工学部建築学科准教授 小林恵吾 先生をお迎えし『つむぐ建築』と題して講演をしていただきました。建築科の生徒のみならず、本校で学ぶ生徒たちにとって、今後の人生に示唆を与えていただける内容でした。Technical、scienceに限定された内容ではなく、art（人文科学）の領域に重点が置かれた内容であり、生徒、専門科の教員のみならず、普通教科を教える教員にも、理解のできる聞きごたえのある内容でした。本校生徒との連携交流の模索も行っており今後が楽しみです。

卒業予定生徒の進路につきましては、就職希望者（卒業予定者の約53%）は、ほぼ全員が早々に内定をいただいております。また、進学希望者につきましては現在も受験活動中ですが、相当数のものが合格を勝ち得ています。

本校は、全国レベルで勝負のできる学校、日本一の工業高校を目指そうと取り組んでおり、これらを具現化していくため、学校の教育活動のあらゆる場面で、学校にイノベーションをという思いで、『イノベーションKT』を合言葉として、チーム学校として取り組んでおります。

全体としてはまだまだ不十分ですが、実社会でも十分通用する難度の高い資格の合格者数や合格率は全国レベルに達しており、各種技術競技会、コンペなどでも、トップレベルの成果を出し、運動部、文化部も含め全国につながる県大会や四国大会でも、これまでなかなか越すことのできなかつた壁を超えるなど、少しずつ着実に成果を上げております。こうした、生徒たちの日頃の活動の様子を逐次ホームページに掲載しておりますので是非ご覧ください。

創設者から続くものづくりや人づくりの精神は、連綿と受け継いでいく必要があります。全国に誇れ、生徒たちが自信をもてる専門高校を目指してまいります。

頑張る生徒たちのバックには、全国工業高等学校長協会主催のジュニアマイスターゴールド以上の認定生徒に対しての顕彰制度や、同窓会にご協力をいただきました学校管理バスの購入など、また、キャリア教育へのご協力など様々な同窓会・同窓生からの支援があつてのことです。心から感謝申し上げます。

同窓生の皆様には今後とも更なるご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、同窓生の皆様の益々のご活躍とご健勝を、ご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。



田原 政範 (昭和 44 年機械科卒)

さすがに、卒業がこの間とは思わないが、50年経ったとも思えない。別に機械が好きなのでもなく、ただなんとなく機械科。卒業後は機械の仕事についたものの、文字のデザインに興味をひかれ、看板屋に弟子入りした。

そういえば、幼少の頃、母にテレビに写るテロップ(文字)は、誰が書いているか尋ねた記憶がある。そのころから文字に対する興味があったかのかも知れない。同窓生とよく飲むけれど、皆決まった様に言う。「おまえの答案用紙は、まちがいだらけだけど、文字は素晴らしい」。と今でも笑い話になる。

25歳で、周りの反対を押し切り、看板屋を立ち上げる。まだ当時は、筆による手書き文字である。文字を書き、絵を描き、仕事は順風満帆だった。ところが転機が訪れる。コンピューターで文字を入力すれば、文字をカットしてくれるカッティングマシンの登場である。素人でも、機械がきれいな文字をカットしてくれる。今まで何年も何年もかかって磨き上げた技術が一気に崩れ落ちてしまった。

同時に仕事量が激減した。そんなおり、3人の子供のうち1人が私の仕事の手伝いをしてくれる。自分自身が父の仕事の農業を継がずに、子供には自分の仕事を継がず、身勝手な親だ。

仕事は若さも手伝って当時は、1日16時間ぐらいの仕事をした。現在の働き方改革とは、逆行する仕事ぶりだった。しかし仕事ばかりでは、さすがにもたない。遊びも十分した。内容は聞かないでほしい、野暮である。

従業員も、2人3人と超零細企業で推移し、年月は経ち第2の転機が、またまた訪れる。カッティングマシンから今度は、インクジェットプリントの登場である。文字だけじゃなく、写真もイラストも一気にシートに印刷して完成する。これは衝撃である。今までの看板製作の概念が全く変わった。グラフィックデザインの分野の勉強がすごく大切になってきた。今までの筆をマウスに持ち替えたわけである。絵を描くときも、これまではグラデーションを描くときエアブラシという特殊な塗装ガンで描いていた物が、コンピューターでやれば一発でできる。これからは、デザイン力とスピードが勝負となる。それぞれの転機に設備投資は惜しまなかった。

皆さんご承知の、龍馬マラソンの仕事も受けることが出来、今年も引き続き仕事をさせて頂いております。その他、県内の大手スーパー、大手紳士服チェーン、国交省・県・市町村の看板、印刷物、デザイン、広告分野と仕事を順調に仕事は伸ばしてきた。

第3の転機が訪れる。いくら順調であっても、高知・四国のマーケットでは先細りは必死である。やはり全国相手に勝負する物はないか？東京の展示会に行き、グッズ関係も面白いなと気づき、その分野にも手を伸ばすようになる。しかし今度の分野は、カッティングマシンや大型インクジェットプリンターとは訳が違うぐらい設備投資が莫大である。正直こわい。アクリル・木材を寸分狂わず、切断していくレーザーカットマシン。それに材料を選ばず印刷をしていくUVインクジェットプリンター、どれも目が飛び出る高価である。グッズ部門も順調に年々伸び続け、この部門では気づけば、四国一の設備を誇るようになった。

同時に、社員も現在15人(パート含め)の所帯になってきた。今年は東京への事務所進出、新社屋の建設と、創業以来の大転機となっている。

それよりなにより、私自身今年で、創業45年になる。考える時期が来たことは確かである。社長を引退し、息子に任すという自分と、まだまだ自分しか出来ない仕事がたくさんあるからという自分が同居する。いずれにしても会社の方向性は、自分が見つめていけないといけないのは確かである。若い絶好調の時は、時代を引っ張っていく感があった。しかし最近、時代に引っ張られ感が多くなってきたやっぱ年やね。寂しいけどこれが現実。

話は変わるけど、やっと念願のレクサスを買った。それもLSという一番高いやつ。社員・家族に買うことを告げると誰一人反対はなかった。その原因は私の言葉にあった。「もう免許返納が近いから、死ぬまでに1回でえいき乗らせてくれや」その言葉であった。おい！ちょっと誰か反対しろや(怒)。まだまだ若いですよ！とか。なんか言い方あるやろ。

そんなこんな半世紀のご報告です。まだまだ同級の皆さん。定年の話、孫の話もいいけど、まだまだ頑張るぞ！

### 『卒業四半世紀を迎えて』



大谷 有香 (平成6年インテリア科卒)

5月に開催された四半世紀同窓会では科を越えたくさんの懐かしい同級生や先生方にお会いし、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

総会では恩師である大野良一先生の記念講演があり、在学中には聞くことが出来なかったエピソードなど貴重なお話を聞くことができ嬉しかったです。

在学中、インテリア科の実習室には大野先生の作品がいくつも飾ってあったことが懐かしく思い出されました。

大野先生の作品の一つで、オーテピアに設置されてある寺田寅彦像もまたゆっくりと鑑賞させて頂きたいと思います。

卒業後の私は、看板の製作と看板資材の販売をする有限会社オカザキ広美に就職し、結婚、出産を経て今現在もお世話になっております。社長が工芸科の卒業生ということもあり、後輩である私にも良くして下さるので働きやすく、やりがいのあるとても居心地の良い職場です。

就職活動の際にこの会社を勧めて下さった先生方には大変感謝しております。

そして、私が卒業四半世紀を迎えた今年、偶然にも娘が高知工業に入学することが出来ました。

進路を選択するにあたりいろいろ悩んでいましたが、最終的には高知工業に決め無事合格し、総合デザイン科に通っております。

科の名称は変わりましたが、私がお世話になった先生方が今も居て下さるので安心して娘を

お任せしております。

当時から職員室は科別であり、先生方も気さくに接して下さいました。

在学中は私も度々 職員室に行って相談にのって貰ったり、時には他愛もない話しをしたりと楽しく過ごさせて頂いたことは今でも良い思い出です。

そして、在学中に最も大きな存在だったのは、3年間同じ教室で過ごした友人です。その友人とは今でも年に数回は集まり近況報告をしています。

みんなで集まると見た目は変われどいくつになっても気分は高校生!!!

くだらない話しにも花が咲き、気が付けば「もうこんな時間?!」と驚くことも度々あります。こんな風に卒業後も楽しい時間を共有できる友人は私にとって『一生の宝物』です。

娘にも在学中にはたくさんの学びや経験をし、学校生活を楽しんで社会に出た時の糧として貰いたいと思います。

最後になりましたが、日頃より同窓会の運営、ならびにこの度の同窓会でお世話をして下さった皆様に心より御礼申し上げます。

これからも高知工業の卒業生であることを誇りに思い、半世紀の同窓会を楽しみに日々過ごしてまいりたいと思います。

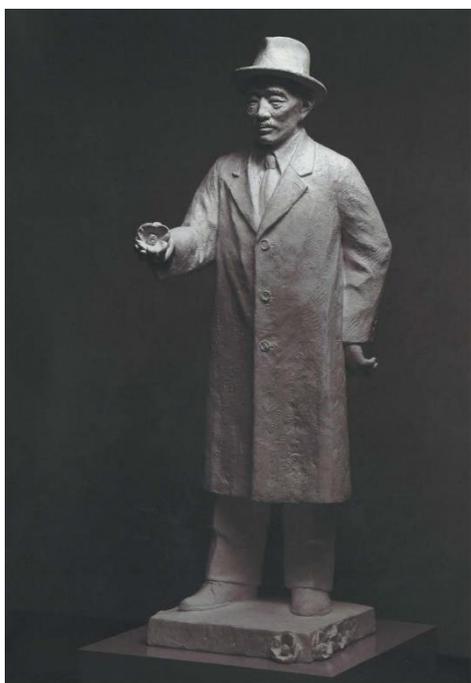
これからも高知工業の卒業生であることを誇りに思い、半世紀の同窓会を楽しみに日々過ごしてまいりたいと思います。

## 50 年に亘り制作してきた思い

大野 良一 (昭和 43 年工芸科卒)

私は大動脈乖離という病気を 1 年半くらい前にして奇跡的に治ったわけですがけれども、今日また心臓がおかしくなりそうで、ドキドキしながら上がってきました。どうぞ宜しくお願い致します。

これが寺田寅彦、今オーテピアに建った像の原型です。この寺田寅彦像の製作依頼のお話が来たとき、とても嬉しかったんですね。よし、これは本当に自分の代表作だという作品にしてやろうと燃えたんですけれども、反面非常に不安だったんですね。不安と言うのは何かと言いますと、銅像になって建つと、下手なもん造るとそれ、彫刻公害と言う公害になるんですね。下手に造ったら作家の私は笑われるだろうし、責められるだろう。そして、私に注文した人もなんであんなもんを造らせた、あんなもん置くなと言われる。で、造られた本人もおかしなもんが建ったねえと言われる。で、それを毎日見なきゃいかん人は迷惑ですよ。それで、更に石とブロンズで出来ているから取り除けんとなると公害以外の何物でもない。そういうことになったら大変なことになると。責任をものすごく感じたんです。しかし、やりたいから喜んで、一生懸命やらせてもらいました。そして、やる以上はただ似てるとか、うまいことやったねえという褒め方では嫌だと、そんな立体看板みたいなものは造りたくないから、彫刻を造ろうと思ったんですよ。その為には寅彦の沢山の本を読ませてもらいました。寺田寅彦知りませんでしたのでね。そしたら、内容がとっても深いと言うか、もの凄く勉強させられたんです。寅彦さんにね。で、その成果としてね、私は次のような作品を造ったんです。



寺田寅彦像 (2017 年)

これ、寺田寅彦が手に持っているのは、椿の花です。椿をぼんと落としたら、たいてい上向いて落ちると。椿というのは下向いて咲いているけれども落ちたら上向く。これ、不思議ではありませんかというお話があるんですね。本にそういう風を書いてある。そして、寺田寅彦の師匠である夏目漱石の俳句に『落ちざまに 蛇を伏せたる 椿かな』と言う俳句があると。そういうことはあられんはずだと。先生、間違っているということで、寅彦はぎっちり椿を落として実験したらしいんですね。だから、大変その高さによって確率が違うという表を作っているんですよ。たかが椿がぼんと落ちて上向くか下向くかだけです。けれども、それを実験する、克明に見るというのはやっぱり科学者の目ですよ。地震とか宇宙の話をしている一方で椿を落としている、同じ人ですよ。それに感銘を受けまして、ポーズも椿を落としている像にしようと考えたんです。そして椿を沢山集めてカッターナイフで切って解剖して研究した。それをやっている間に面白くなってですね、これを巨大な椿にしたらどうなるんだろうと。だから、これ 1 個がだいたい五右衛門風呂くらい大きさに造ったんですよ。そしたら、その

私がずっと中央展に出品していて、平入選ばかり続けていた新制作展で新作家賞という賞を頂いた。この賞はその年に年に 3 点くらいしかないんですね。多くて 5 点くらい。だか

ら、まさかそんなものをもらえるとは思ってなかったけれども、賞を頂いて。さらにその上に、その会を代表してベストセレクションという東京都立美術館でもう一回展覧会をするということで、全国展の選抜展に出品させてもらいました。



藤の実 (2015年)

これが、藤の実という作品です。これも寺田寅彦の本を読んでいたらこんな文章があったんですね。書齋にいたらガラスをパンと打つ音がした。いたずらの坊主が石投げたんだろうと思って戸を開けるとそこに何もいなかった。ただ、藤棚があった。その実がはじけて当たったんだろうというところから、彼は初速がどのくらい、いつ頃はじけるか研究するんですね。私は藤の花はよく見るけれども、藤の実って知らないなあと思ってですね、暫時走ってどこに藤の木があるかを探しました。お城の下の藤並の公園にありますよね。で、そこへ車で行って採ろうとしたら、確かになっ

ているんですね、たくさん。あーなるほどねと。で採ろうとしたけれども、手が届かない。30センチくらい高いんですよ。だから、どうしても欲しかったんでね、将棋をうっているおじさんにね「おんちゃん、あの藤が欲しいき、その椅子貸して」とね、奪っていったんです。おっちゃんあつぼろけと腰浮かしたんですけれども。それとってきて、無事ちぎって、よーく観察すると、とても美しい。見ようによっては女性の胸とか尻とかのプロポーシオンによく似てるし、今までね、藤の実を彫刻にする、ましてぶら下がったように造るなんて人がいなかったようで、これも賞をいただいたんです。



寺田寅彦(Ⅲ) (2016年)

話はまた元に戻りますけれども、寺田寅彦を造るにつけて、やっぱり顔が似てないといけないと思ひまして、いくつか顔を試作したんですね。4つ程造ったんですが、1つ目は切手にあるようなやさしい顔、2つ目はあんまり優しいと思ひていかつい顔を造って、どうもいかんと思ひて、3つ目だから寅彦Ⅲなんですけれども、ちょっと気に入りましたね、ブロンズ鑄造したんです。そして東京の銀座のギャラリーせいほうというところに展示したら、ある有名な美術評論家、赤津侃(あかづただし)という方なんですけれども、通りがかりに寄って、じーっと作品を見てですね、そしてネームプレート

をみて「お！寺田寅彦か。よく似てるなあ」と大きな声でつぶやいてくれたんです。そして隣におるお婆さんも「そうでございますね」なんて言うから、いい気なもんですよね。そしたら、ギャラリーの主も「よかったなあ。あの人、赤津さんって有名な美術評論家だよ。よく似てるってね。君、自信持てるね」言ってくれて。よし、あの顔で寅彦造っちゃおと思ひたんです。しかし、時間が経つとなんだかそこらへんにおりそうな顔じゃないですか。なんぼそう言っ

それはね、北海道の中谷 宇吉郎（なかたに うきちろう）という寅彦さんの教え子のその人と一緒に並んで写っている、死ぬ3年前の写真でした。この写真は帽子をかぶって非常に深い顔をしている、人生を全部背負ったみたいな顔をしている、私はこれ好きだったんです。ところがその「僕はこれ好きだからね」と言ってみせてくれた写真もそれだったんです。だから、あんなに褒めてもらったからあれにせんといかん思っていたのを思い切って変えました。そしてこの頭像は気に入ったからブロンズにして寅彦記念館に寄贈しました。そうして、全身像がブロンズになって帰ってきて私のアトリエへ着いた。ほっとしたんでしょうね。そのあくる日に大動脈乖離と言うのをやって、ヘリコプターで運ばれて奇跡的に回復しました。



寺田寅彦（Ⅳ）（2017年）



これ、オーテピアに今実際ある寺田寅彦像なんですけれども。これ、こんなことを言ってくれた人がいるんですよ。ある美術の季刊誌の記者が、『ここは新しいオーテピアという建物です。その北東の門に東京の青山に見まがうようなものが出現した。こんな人ごみの中にこんな素敵な像を計画したのは誰。褒めちやる。』と書いてある。それで、『この像があるばかりにあの辺りの景観に品格が出た』と書いてある。こんな褒め言葉を頂い

て。私は、下品になったらどうしようかと悩みよったのを、その記者がそう書いてくれているので、これは彫刻家冥利に尽きると。今日講演会で言おうと思っていたのはこれだけです。もう一つ。実はですね、私余技として俳句をして遊んでいるんですよ。『雨上がり 草刈鎌を ずいと研ぐ』 雨が降ると植物が水を吸うので切り倒しやすくなる。そこで鎌を研ぐ晴耕雨読の生活をしゅうということで、こんなことを最後にちらっと披露して今日のお話を終わらせていただきたいと思います。本日はどうもありがとうございました。





## 60年ぶりの同窓会



岡崎 洋一郎（昭和32年機械科卒）

元号が、平成から令和時代を迎えた。毎年5月実施の、母校同窓会総会より一足早い平成31年3月18日、私達（昭和32年機械科卒）14名が卒業より60年ぶりに再会した。開催の端緒は、神奈川に住む山尾、浜田の両君が、「彼岸に里帰りしたい、集まれる者だけでも顔合わせが出来たら」との電話に、「何人集まるか分からないが段取りを試してみる」と答えた。

母校では毎年、同窓会総会が実施され、この総会に合わせて『50周年』と『25周年』の集いも実施されている。10年前、俺達も多分これが最後の同窓会になるだろうと言いながら『50周年』を呼びかけたが14名の参加であった。今回卒業60年目のクラス同窓会準備に着手。

日時：3月18日 昼 ホテル日航高知・旭ロイヤル22Fを会場に設定した。2クラス60名の卒業仲間も半数近くが他界や消息不明、残る30名中の連絡可能は26名であったが、再会を呼びかけて届いた返信は、

出席者14名（県外/9名、県内/5名）  
欠席者12名（諸事情で欠席、皆さんに宜しく6名、ご家族より本人他界3通、宛先不明の返送3通）であった。

今回、顔の入れ替わりがあるものの14名の参加は予想外で、世話役としても大変嬉しかった。尚、県外参加者の中で前日よりの帰高者との前夜祭（17日夕）を追手筋のひろめ市場に予約した。17日朝 龍馬空港で出迎えた浜田、山尾両君を含め9名が夕刻現地集合。18時より、其々が好み料理と酒で気分も高揚し最高の前夜祭であった。

翌朝、私は午前の空き時間を利用し、県外の中川、岡の両君を車に乗せ母校を訪問。横畑校長との面談も叶い、校内も見学出来て、両君は60年ぶりの母校訪問に感激していた。

平成31年3月18日 11:30～ 同窓会

県外参加

岡 昌史 岡田 光政 奥田 勝美  
柿本 忠徳 中川 義親 浜田 良友  
平田 昌三 福島 敏男 山尾 竹良

県内参加者

岡崎洋一郎 仁井田精一 森本 一夫  
山崎 尊久 横川 東洋

合計14名が、ホテル日航高知・旭ロイヤルロビーで待ち合わせた。「お前は誰？」「なに？○○か！」など白髪や禿頭の顔に学生時代を重ねても分らず、他国に迷い込んだ様な会話を交わしあった。

全員が揃うと、22階の会場へ……ワインで喉を潤し食事も弾み、順次1人3～5分のスピーチで、卒業後より80歳に至る来し方を振り返り、武勇伝等を開陳、60年ぶりの再会は実に楽しく身も心もほぐれて話題はつきなかった。

振り返れば私達が卒業した昭和32年は日本経済の上昇期で、高知工業高校機械科の卒業生は県外の手企業に大半が就職し昭和、平成の時代をそれぞれの分野で活躍した。そして全員80歳のラインを跨いで令和新時代へ……

母校の充実発展とお互いの健康を祈り、チャンスがあれば又の再会を願い会場を後にした。

（令和元年8月20日 記）



平成 31 年 3 月 18 日 11 : 45 ~ 13 : 30  
ホテル日航高知旭ロイヤル 22 階での同窓会（参加者 14 名全員 80 代となり、60 周年の再開は楽しく話は尽きなかった。）



平成 31 年 3 月 18 日 午前  
校長室にて横畑校長と共に

## 私と写真撮影

今西 正之（昭和 33 年工業化学科卒）

私が写真撮影を思い立ったのは確か写真雑誌『朝日カメラ昭和 39 年（1964）』の 1 月号に掲載された安曇野在住の写真家：田淵行男氏（穂高市柏矢町に記念館在り）の秋の穂高涸沢の写真を見て山岳写真の撮影を見たのが始まりです。来春の夜間大学を卒業後に出来る自由な時間を何に使おうかと考えていた時期です。仕事柄、暗室作業もすでに習得していましたし、父親が戦前旧満州で写真館を経営していた事から写真に関心があったためでしょう。

夜学卒業後 5 月の連休にカメラと登山装備を購入、国鉄中央線上松駅から木曾駒ヶ岳に登りました。しかし稜線は深いガスの中で踏み後をたどって頂上に立ちましたが、このような体力や技術では写真撮影の前に命を落とすと思い、秋に大阪の社会人山岳会（紫岳会：阿部和行氏主宰・後年日本山岳会関西支部長に就任、会はこの年の 10 月に黒部川・奥鐘山西壁：トロッコ列車の檜平から水平歩道まで登り、上流へ歩いてすぐ対岸に見える大岩壁を初登攀）に入会、六甲山などで登山技術の習得を開始しました。

入会後は主として積雪期は会の仲間達と、無雪期はほとんど単独でカメラを持ち、北アルプスに出かけて撮影を約 15 年ほど続けました。山行で思い出すのは紫岳会入会の前年の昭和 38 年（1963）11 月 28 日（土）休暇を利用して父が暮らす高知の帰省に際して、林間学校で登った梶ヶ森に登ろうと考え、早朝の豊永駅に下車しました。持参した携帯ラジオ（1kg もある代物）のスイッチを入れると聞こえてきたのは第 35 代アメリカ大統領 J.F. ケネディ暗殺のニュースでした。

翌年の東京オリンピックの昭和 39 年（1964）10 月 10 日が臨時祝日になったこと事から、単独で木曾駒ヶ岳に登り、開会式のファンファーレを聞きました。

後年、10 月 10 日が体育の日になったのは皆さまご周知の通りです。

経験を積んだ昭和 42 年（1967）の夏には単独で大町市・葛温泉から高瀬ダム・湯又・千天出合・北鎌沢（泊）・檜ヶ岳・南岳（泊）・北穂岳・奥穂高岳を越えて上高地に下り、徳合峠の登り

で猛烈な落雷と降雨に遭遇し、ずぶ濡れになって仕方なく徳本峠の小屋で素泊まりする事になりました。

暗くなった頃、小屋に単独で大天井岳から歩いて来た富士宮山岳会の若手リーダーが到着、通過した大滝小屋の近くで遭難事故が起きたとかで上高地と盛んに交信していたと話すので、徳本小屋の小屋番に知らせてトランシーバーで連絡すると、西穂の稜線で雷遭難が発生したのを知りました。翌朝は快晴、島々谷を新島々駅まで歩きましたが、上空を多くの飛行機やヘリコプターが乱舞、やかましい下山になりました。島々駅で新聞を開くと、地元松本深志高校の生徒が西穂の稜線で雷に遭遇、死者11名・負傷者13名の大事故が発生した事を知りました。雷発生の2時間ほど前に私は西穂へ稜線を歩いていましたので、雷に遭遇しなかったのは全くの幸運だと思ったものです。

その後、私は本態性低血圧で（安静時の血圧が100と60程度、手足が冷えて冬季登山ではほとんど安眠することが出来ず）長い期間の登山活動には不向きな身体である事を知り、少しずつ登山から遠ざかり社業に専念していきました。平成3年頃（1991）から妻と共に痴呆症を発症した父親の介護を引き受けたのを機に、友人の勧めで野菜作りを開始、全て人力で最盛期には10mの畝を30本ほど耕し、毎年玉ネギ（500～600個）、ジャガイモ（70～80kg）その他を収穫、昨年末80才になるのを機に、約25年続けた野菜作りを終了しました。

いずれ定年退職後に写真撮影を再開するには体力の維持が必要とランニングを続け、平成7年（1995）9月には馬路村で開催された第5回

おらが村心臓破りフルマラソンに参加のため飛行機で龍馬空港へ、安芸市に住むクラスメイトに迎えられ室戸岬を観光した後、馬路村へ入りました。30度を超える高温の中での峠越えがあり、完走に5時間もかかり、みっともない結果となりました。

平成14年（2002）定年退職を機に行動範囲を広げるため運転免許を取得、写真撮影を再開しました。その後、妻と共に車で日本各地を巡るとともに、住まいする北摂地方（摂津の国：大阪府と兵庫県の一部）の風物（社寺・山里・民家・花々等々）をテーマに撮影を再開しました。写真展は平成26年（2014）の年末、かつて撮影した山岳写真をプリントした『回想50年前の北アルプス』を、住まいする兵庫県川西市は武門源氏発祥の地である事から、平成28年（2016）に北摂の風景Ⅰ『武門源氏ゆかりの社寺を訪ねて』を、平成31年（2019）には北摂の風景Ⅱ『長谷の棚田を訪ねて』を開催、大阪在住の同級生・同窓生の方々にも来場いただき今日に至っています。

（令和元年6月15日記）



雪の鹿島槍ヶ岳北壁（1968年3月19日撮影）



← 源道仲・頼光公 墳墓  
（2015年1月3日撮影）



早朝のかやぶき民家 →  
（2015年11月10日撮影）



### 東京支部（桂工会）

**支部長 谷岡 健吉（昭和41年電気科卒）**

4月29日（月）の同窓会本部の総会・懇親会には谷岡健吉が出席しました。

6月8日（土）には定例の支部役員会を八重洲倶楽部で開催し、次期役員体制、会計引継ぎや総会・懇親会の新たな会場等について議論しました（写真）。このうち次期の支部長（桂工会会長）については、池上博氏（現副会長、昭和39年電気科卒）を推薦し、総会に諮ることを決定しました。また総会・懇親会の会場については、より好条件での契約が可能なパセラリゾーツ銀座店（銀座6-13-16）とすることを決めました。

今年度の支部総会・懇親会は10月12日（土）に上記会場で開催の予定でした。しかし、猛烈で超大型の台風19号の接近で、当日の交通機関の計画運休の可能性が発表されるなどの異例の事態となったため、急遽電子メール等で役員間の連絡を取り合い、総会・懇親会の中止を決定するとともに関係の皆さまにお知らせしました。総会での予定承認事項については、次年度に前年度にさかのぼっての特例の承認を得たく考えています。

今後の予定としては、関東高知県人大懇親会への参加、母校での同窓会入会式への出席のほか、3月7日（土）に支部役員会を開催して令和元年度の東京支部桂工会の活動をすべて終えることとなります。



東京支部（桂工会）役員会



### 静岡支部（静桂会）

**支部長 小川 純一（昭和37年機械科卒）**

静岡支部（静桂会）は平成13年（2001年）発足以来18年目を迎えました。本年度は富士市にて新規会員を獲得できました。高知県から静岡県に進出している企業にも引き続き勧誘しています。今年も支部活動に尽力してまいりますので宜しくお願いします。



### 令和元年度活動報告

- ◆ 新規会員へのインタビューとメッセージ紹介  
全会員の現状調査
- ◆ 11月10日（日）静岡支部〔静桂会〕総会開催  
（静岡市クーポール会館）
- ◆ 令和2年1月下旬 『卒業生に贈る言葉』寄稿  
（小川 純一氏 昭和37年機械科卒）

### 令和2年度活動予定

- ◆ 4月29日（水）本部総会へ支部長が出席
- ◆ 11月8日（日）静岡支部（静桂会）総会開催



## 東海支部（南風会）

### 支部長 松本 幸平（昭和53年機械科卒）

令和元年7月6日（土）中部電力社員クラブ東桜会館において南風会総会・懇親会を開催しました。小松工業高校同窓会中京支部からは藪支部長をはじめ4名、高知からは同窓会本部 吉良副会長、機械科三浦教諭にご参加頂きました。また、三浦教諭を慕う5名の新卒者が加わり、総勢22名での会となりました。懇親会では、金田先輩の三河相撲甚句、小松工業高校同窓会中京支部の村田様からのなぞかけもご披露頂きました。最後は、白寿を迎えた猪野先輩より長生きの秘訣などお話を伺い楽しい時間となりました。

来年の総会でも元気な猪野先輩にお会いできることを楽しみにしています。同窓会が楽しく相談できる場所にしたいとご協力願います。



また、地元紙『尾北ホームニュース』に猪野千世夫さん（昭和13年機械科卒）の記事が掲載されましたので、ご紹介いたします。

## 尾北ホームニュース記事

今年5月に数え100歳を迎えた 扶桑町柏森の猪野千世夫さん(大正9年5月23日生まれ)を6日森岡仙太 愛知県副知事が敬老事業として訪問し、敬老の祝いの品を贈呈しました。

千田勝隆町長も同行して長寿を祝福。森岡副知事からの「長寿の秘訣は」の問いかけに「自ら考えて作った健康体操を継続して行っている」と話す猪野さんは、杖を使うことなく散歩にも出かけ長男の公明さん家族と2世帯住宅で同居していますが、妻の和子さん(同14年6月1日生まれ 94歳)と二人で自分たちの身の回りのことはするなど健康そのものの生活を送っています。

千田町長から「健康第一。末永くお幸せにお過ごしください」と声を掛けられると猪野さんは昨年まで取り組んでいたという古文書についての活動も紹介。

弾む会話の後には、長寿を祝う席に集まった長女や長男家族孫、ひ孫と一緒に記念写真を撮りました。

(2019.9.14 掲載)



## 大阪支部 (鯨工会)

支部長 堀田 秀雄 (昭和43年土木科卒)

大阪支部では、10月19日、石川県の小松工業高等学校創立80周年記念の行事に出席してきました。関西の小松工業高等学校同窓会の関係者とは交流がありますが、本部への出席は初めてでした。またひとつの新しい人間関係が出来、少しずつ交流が出来ると思います。

11月7日は、鯨工会のゴルフコンペを行う予定です。仲間とのコミュニケーションを計り、鯨工会ワンチームを求めていきたいと思っております。同窓会の皆様のご健康を祈願し、ご報告をいたします。





## 安芸支部（芸工会）

支部長 黒岩 良行（昭和 40 年電気科卒）

本年も 9 月 21 日(土)、第 14 回安芸支部（芸工会）総会を開催しました。事前に隣接する物部川支部との交流を深める話が整いまして、本部からは、右城会長、横畑校長をはじめ事務局 2 名、物部川支部からは、大窪支部長、岩村事務局長などに出席頂き、総勢 22 名の賑やかな会を開くことが出来ました。今年は役員改選の年に当たりましたが、全会一致で再任されるなど和やかな雰囲気の中順調に進行。懇親会では時の経つのも忘れ、あちらこちらで盃が飛び交い、最後は、新旧校歌で会を締めくくる楽しい会となりました。

### 『令和元年～2年度』役員

会 長	黒岩良行	(S40年卒)
副会長	田中昭栄	(S33年卒)
副会長	宗我部修	(S39年卒)
監 事	森 耕彦	(S38年卒)
監 事	大野恵三	(S56年卒)
事務局長	山手敏和	(S49年卒)



## 物部川支部

支部長 大窪 和男（昭和 48 年電気科卒）

物部川支部の近況をお知らせします。支部開設から早くも 4 年になりました、皆様のご協力により順調に活動することができ大変感謝しております。令和元年も順調に予定した行事を行うことができています。

7 月 13 日の総会には安芸支部支部長ほか 2 名、また本部からも副会長、事務局、学校より校長の参加をいただき総勢 50 名の会になり大変盛り上がりました。



9月21日には安芸支部にお招きいただき、岩村事務局長と2名で参加してきました。支部間の交流も支部の活性化につながると思います。

11月20日には2度目の懇親ゴルフ大会を予定しましたが、残念ながら参加者が少なく1組での親睦になりました。次回はぜひ多くのご参加をお願いします。

1月は新年会、7月には総会を予定していますので、多くのご参加お待ちしております。

新規会員も募集していますので、香美市・香南市周辺の方はぜひお誘いあわせの上参加いただければありがたく思います。



## 嶺北支部（吉野川会）

支部長 西村 行雄（昭和37年土木科）

向春の候 同窓生の皆様方におかれましては、益々ご清栄の事とお喜び申し上げます。

本年は、台風15号、19号による甚大な被害がございましたが、同窓生の皆様には  
お変わりありませんでしたでしょうか。

当同窓会では、地域の清掃活動で公園の清掃、花壇の花植えを行っております。活動に参加していただける会員も高齢、少数化しておりますがより多くの同窓生に参加してもらえるよう、頑張っております。また地域の方々にもご参加  
いただくよう、声掛けも行っております。当地区の、同窓生の参加をよろしく願いいたします。



### 令和元年度事業報告

- 4月29日 本部同窓会総会出席
- 9月27日 嶺北支部役員会
- 11月24日 公園清掃・支部総会





## 幡多支部（波多愛校会）

支部長 福田 充（昭和44年建築科卒）

6月19日四万十市に於きまして令和元年度の幡多支部(波多愛校会)の総会を開催いたしました。本部からは本年4月より新会長になられました右城会長をはじめ3名の本部役員をお迎えして幡多支部の同窓生24名の参加により行いました。本年度は役員改選期でありましたが、総会全ての議事案を滞りなく終了致しました。

毎年のことですが、初参加の同窓生もいて高校時代を振り返っての昔話など大変盛会な懇親会となりました。

1年に1回の総会懇親会ではありますが、またのご参加をお願いいたします。

また今回ご参加いただけなかった同窓生の方々へ来年の参加のお願いをしたいと思います。

学校創立以来数多くの同窓生を輩出しています幡多出身の皆様方へ是非とも多くのご参加をお願い申し上げます。



## 青年部

部長 寺川 湖砂（平成6年情報技術科卒）

青年部では青年部会を年3回、学校との連携事業として就職模擬面接（9月実施）、筆山公園の除草作業（1月実施）を行っています。また、同窓会総会では司会を務め、総会の一端を担っております。青年部会では同窓会活性化を図るための協議を行っています。

令和元年12月21日（土）19:00～高知市の一心風土庵にて、第3回青年部会が開催されました。令和2年1月26日（日）には筆山公園除草作業（100周年記念、青年部設置記念植樹の除草作業）を行う予定でしたが、雨天の為中止となりました。その為、有志による会を開き4月29日（水）昭和の日に開催予定の令和2年度同窓会総会について打ち合わせを行いました。



## 開校記念ゴルフ大会のご報告・ご案内

ゴルフ部会幹事 大窪 和男（昭和48年電気科卒）

ゴルフ愛好家の皆さん、毎年のご参加ありがとうございます。今回は令和最初のゴルフ大会となります。本年も多数のご参加をお願いいたします。

尚、ご参加を希望される方は、ゴルフ部幹事又は同窓会本部までご連絡をお願い致します。（FAX、E-mailでも構いません。）



### 高知県立高知工業高等学校 令和2年開校記念ゴルフ大会のご案内・申込書

主催 高知工業高等学校同窓会ゴルフ部会

記

令和2年度開校記念ゴルフ大会を下記の要領で開催することになりました。ゴルフ愛好家の皆様の多数の参加をお待ちしております。

1. 日時 令和2年4月28日(火曜日)  
スタート8時00分頃の予定(若干の時間の変更はあります)
2. 場所 土佐山田ゴルフ倶楽部 香美市土佐山田町楠目字油石3594-1 (TEL)0887-52-3161
3. 参加資格 同窓生 教職員 ご家族の方
4. 競技方法 18ホール ストロークプレイ HC ダブルペリア方式
5. 参加料 2,000円(プレー費は自己負担とする) ※セルフプレイになります
6. 参加申込み・お問い合わせ  
申込み・問い合わせ先 高知工業高等学校同窓会事務局  
住 所 高知市棧橋通り2丁目11-6  
TEL・FAX 088-831-4133
8. 申し込みは3月31日までにお願いいたします。(組合わせ表は4月15日ごろ発送予定です。)  
※出来るだけ1組単位での申し込みお願いいたします。  
申し込みは郵送・FAX・電話で受付いたします、必要事項のご記入、ご連絡よろしくお願ひ申し上げます。  
又、組合せ表は決定後、代表者に郵送させていただきます。

#### 令和2年度開校記念ゴルフ参加申込書

代表者氏名		電話		FAX	
卒業年・科		住所			

1組				
参加者名	卒業年	科	住所	電話・FAX

## 『工業ハ富国ノ基』読書感想文表彰

新入生の皆さんに創立者の伝記『工業ハ富国ノ基』の読書感想文を書いてもらっています。優秀作品の表彰は、12月24日の2学期終業式の間で行いました。入賞した生徒さんは次の通りです。最優秀作品を掲載しています。



<b>最優秀</b>	谷岡 一沙 (電気科)		
<b>優 秀</b>	橋本 晋太郎 (機械科)	近森 世蓮 (情報技術科)	
	久保 明央人 (工業化学科)	川村 直輝 (土木科)	
	西尾 風姫 (建築科)	中山 幸咲 (総合デザイン科)	

### 工業ハ富国ノ基を読んで

電気科 谷岡 一沙

この本は工業の歴史について辿った本だが、伝えたいことは、工業の歴史を通じて今の自分達に積極性や継続力が大切ということだと思います。高知工業高校は歴史ある学校で、全焼や廃科するなどあったが、それを乗り越え、今私達が入学して学べるということは凄いと思います。自分達はその歴史を背負っているという責任を持つ必要性をこの本を読んで感じました。その為のきっかけとして、とても良い本だと私は思います。

先ず、私が印象に残ったのは、明太郎先生が『日本の工業技術は欧米先進国と比べて出遅れていたことを自覚し、自ら行動を起こし日本の工業技術の発展のために海外へ渡り学ぶ』という所です。私は、自分達が今置かれている状況を冷静に理解し、不足している所は自分で行動を起こし、問いかけをすることの大切さについて改めて考え直すことが出来ました。今も昔も必要となる能力はあまり変化してなくて、明太郎先生のように行動を起こさなければ、現状から変化などなく、周りに置いて行かれる一方だということが分かりました。自ら行動を起こして損をすることは中々ないと思うので、積極的な行動の大切さを考えさせられました。工業の基礎を磨き上げたとも言える人の歴史を辿っていくことにより、工業の大切さや、この百年、二百年の間にどれだけ工業が飛躍しているのかを間近に感じる事ができ良かったと思います。そして、工業の知識を広める為に教

育をし、自分達が学んだことを伝え、次の世代へと継げてきたお陰で、私達は工業を身近に感じることが出来るようになったのです。日常生活で常にお世話になっている工業に私も携われることを誇りに思います。

次に、素晴らしいと思った所は、『自国では需要の低かった特殊鋼鋼材のような合成ジャンルにあえて力を注いでいた』という所です。当時の日本では、他国に比べて開発が遅れていて需要も低く、未だ広く世に知られていない物に参入していくことは凄い賭けだと私は思いました。ですが、参入したことにより高い信頼を得るまでに成功したのです。このように、リスクを背負ってでも新しいことに挑戦することはとても大切だと思いました。明太郎先生のように、成功ばかりでなく失敗することの方が多いかもしいけれど、冷静な判断力とやる気さえあれば、乗り越えられると思いました。そして、挑戦するという選択は評価されるべきだし、積極的にするべきだと思います。たとえ挑戦をして失敗しても、それは自分の経験値として積み重なっていき、次の挑戦への糧となると思います。私も積極的に挑戦し、思い切って行動に移したいと考えています。

『工業技術の発展こそが国家の発展』という理想、目的に沿って書かれた『工業ハ富国ノ基』を読んで、私は自発的かつ積極的に行動すること、冷静な判断力、新しいことへの挑戦心について改めて考え直しました。

## 令和元年度の就職状況について

進路指導部長 澤田 浩志

本校同窓生の皆様には日頃より大変お世話になっております。進路指導部より本年度の就職状況を途中経過ですが、ご報告させていただきます。

本年度は143名の生徒が就職を希望しており、11/1現在114名が内定をいただいております。未内定は公務員希望が25名ですので民間企業につきましては終了している状況です。公務員では、高知市役所5名が技術職で内定をしております。

次に求人数ですが、今年度も昨年に引き続き求人依頼は非常に多くあります。今年度も県外企業からの求人依頼は高止まりしており、製造業を含め土木・建設業など多業種にわたり求人依頼が発生しているのが特徴です。また、地区別では関東・関西はもちろん九州地区からの求人もあります。ただ、限られた就職希望者の中で、すべての求人依頼にお応えすることができなく大変心苦しい心境であります。今後も、就職希望者の大幅な増加がない限りこの問題は解決しそうにありません。今年度は例年と同様に、就職・進学希望率が概ね半数ずつとなっていますが、就職希望者の内、県内希望の生徒が6割となっています。これは、さまざまな報道等でもあるように県内企業の人材不足で、高卒・大卒ともに就職環境が売り手市場の状況にあり、県内企業の求人が高い水準を維持しています。本校への求人も昨年よりも微増となっており、また、技術系公務員の採用予定数も土木・建築を中心に増加しています。

生徒は部活動や各科の先輩方とのつながりを重要視しており、これまで実績のある製造業を中心に各専門分野を活かした受験先を志向する傾向が続いております。結果、各企業でご活躍されている諸先輩方のお力添えや、就職試験直近の面接指導、進路ガイダンス等の各事業へのご協力に

よる賜だと感じております。そのような活動が実を結び、各企業の本校に対する期待度の現れとなって、ここ数年早い段階での内定をいただくことができております。あらためてお礼申し上げます。

### 求人数の推移（過去5年間）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
求人総数【社】	643	706	805	913	938
県内求人数【社】	195	165	201	214	244
県外求人数【社】	448	541	604	699	694

※令和元年11月1日現在

生徒の就職先地域については以下のとおりです。

### 就職者の地域分類（過去5年間）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
関東地区【人】	5	10	8	4	11
中部地区【人】	24	26	15	21	15
関西地区【人】	14	22	11	15	13
中国地区【人】	0	6	1	3	1
四国地区【人】	20	25	9	14	9
その他【人】	0	0	0	0	1
高知県内【人】	63(50%)	70(44%)	77(64%)	62(52%)	64(56%)
総計【人】	126	159	121	119	114

※令和元年11月1日現在

今年も特徴としましては、県外では愛知県を中心とした中部地区への内定者が多いことです。トヨタ関連企業をはじめ製鉄会社など大手企業が集中し、生徒からは人気の高い地区となっております。四国や中国地区は採用枠の拡大や高知県から近隣ということもあり、例年ですと希望者が多い地区になりますが、今年度は半数の10名程度と

なっています。関東地区は例年若干名ですが、大手鉄道会社や製造業、ビルメンテナンス業への内定者がいます。求人数が多い割に希望者が少なく苦慮しています。何れの地区でも卒業生のご活

躍により同窓会各支部活動の活性化が期待されます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

## 最近の進学状況について

進学指導部長 安芸 暢英

昨年度の具体的な進学状況は、大学 61 名(国公立 22 名[高知大学 4 名・長岡造形大学 1 名・高知工科大学 17 名]、私立大学 39 名)、専門各種学校 44 名、短大・ポリテク等が 11 名でした。(別表「平成 30 年度 科別進学者数」を参照下さい。)高知工科大学は 7 年前から高知県内高校卒を削減するなど入試制度も含め変化し、システム工学群では物理内容の学科試験を課した AO 入試や、推薦での口頭試問が実施されるなか、合格実績は全学群合わせて 17 名でした。システム工学群に県内卒の AO 入試が導入され、県内推薦人数枠が減少し、環境理工学群ではセンター試験利用の推薦が導入され、また県内推薦人数枠の減少など入試制度の見直しが続き、今年度からは情報学群で学科試験を課す AO 入試に重点が置かれています。今年度はシステム工学群と情報学群の AO 入試に多くの生徒が挑戦しましたが、厳しい結果となっています。これは、本校のみのことではなく高知県内全体についての傾向となっています。

本校の最近の進学についてみると、例年約半数が進学しているように、今年は全体の約 45%が進学となっています。4 年制大学へ進学者の数は 61 名であり、例年よりやや減少し、専門学校進学者の数は昨年と同数でした。中でも国公立大学への進学者数は 20 人前後と全国の他の工業高校に比べ多く、高い進学率になっています。中でも、地元の工業系大学である高知工科大学への進学者が多くを占めています。高知工科大学の結果は、全て高知県内高校卒を使用した AO 入試・推薦入試によるものです。また、他の国公立大学への進学は、主に専門学校卒の AO 入試や推薦入試を使用することで実績を挙げています。また、高知大学理学部は理工学部情報科学科に 2 名合格と実績を残すことができました。

そして、全国的な流れとして大学入試改革として、2020 年度(現高校 2 年生から対象)から「大学入学共通テスト」として、思考力・判断力・表現力を中心に評価することで大学教育を受けるために必要な能力を測定することを目的としたテストの実施が検討されています。現 3 年生が受験する最後となる現行の大学入試センター試験は全てマークシート方式で実施されていますが、「大学入学共通テスト」では一部記述問題が導入されます。当初は国語と数学で実施され、2024 年度以降からは地理歴史・公民や理科分野に広げることが検討されているということです。ただ、2020 年度から導入するように準備をしていた、「英検」や「GTEC」などの民間の英語試験を活用する予定でしたが、急遽 2024 年度まで延期されるなど、不確定な状況になっています。

また、「高校生のための学びの基礎診断」も実施され始めました。それは、これからの社会で必要とされる能力を踏まえ、大学進学希望者に限らず、すべての高校生の学習意欲の喚起と基礎学力定着に向けた試みとしています。

県下では、高知リハビリテーション学院が専門職大学に認可され、高知学園短期大学も大学へと

変化しようとしています。

このように大学の学科改変や大学入試制度、専門職大学など大きく変貌をしようとしている中で、工業高校生徒の大学進学的手段方法に対してアンテナを張って情報を集めなくてはならない状況になっています。同窓生の皆様におかれましても、ご助言等ございましたらよろしくお願いいたします。

最後になりますが、同窓会の今後ますますのご発展と、同窓会各位のご活躍をご祈念申し上げます。

	平成30年度 科別進学状況							合計
	機械	電気	情報	化学	土木	建築	総テ	
国公立大学	1	4	8	1	1	6	1	22
私立大学	3	1	4	4	6	13	8	39
私立短大	0	0	0	4	0	0	1	5
高専	0	0	0	0	0	0	0	0
ポリテク・他	0	1	3	0	0	0	1	5
職業訓練校	1	0	0	0	0	0	0	1
専門学校	1	6	11	0	4	5	17	44
各種学校	0	0	0	0	0	0	0	0
計	6	12	26	9	11	24	28	116



## 模擬面接のお礼

令和元年9月7日（土）に母校との連携事業である、就職希望者を対象とした模擬面接を行いました。



同窓生の皆様には面接員として毎年お世話になっております。ありがとうございました。

## 男子 U17 ソフトボール日本代表に 3 名選出

### アジア大会完全制覇に貢献 & MVP

令和元年 9 月 8 日より「第 7 回男子 U17 ソフトボールアジアカップ」がマレーシアで開催され、本校から日本代表に 3 名が選出され、予選・決勝を全勝でアジアの頂点に立ちました。また、アジア大会 MVP には 7 試合で 24 打数 14 安打（8 長打）を記録した味元琉維君が選出されました。

#### ◆ 出場選手：U17 日本代表チーム

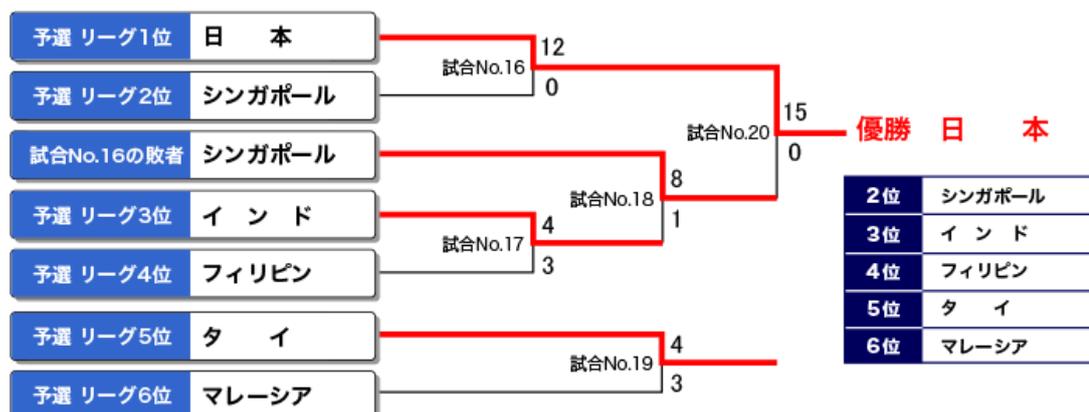


味元 琉維  
 (大正中学校 - 3 年土木科)  
 片岡 久也  
 (池川中学校 - 2 年機械科)  
 西森 潤  
 (仁淀中学校 - 2 年土木科)

#### ◆ 試合結果：第 1 位（W杯出場権獲得）

予選リーグ 戦績表

	日本	フィリピン	インド	マレーシア	シンガポール	タイ	勝	敗	得点	失点	順位
日本		○10-4	○17-0	○10-0	○10-0	○19-0	5	0	66	4	1
フィリピン	●4-10		●2-5	○10-0	●4-8	○15-3	2	3	35	26	4
インド	●0-17	○5-2		○3-1	●1-2	○10-6	3	2	19	28	3
マレーシア	●0-10	●0-10	●1-3		○14-9	●0-3	1	4	15	35	6
シンガポール	●0-10	○8-4	○2-1	●9-14		○7-0	3	2	26	29	2
タイ	●0-19	●3-15	●6-10	○3-0	●0-7		1	4	12	51	5



# 第 34 回全国高等学校インテリアデザイン展

## 最高位の文部科学大臣賞受賞

「デザイン甲子園」と呼ばれる「第 34 回全国高等学校インテリアデザイン展」におきまして、総合デザイン科 3 年の田中優花さんが最高位の「文部科学大臣賞」を受賞しました。また、同じく同科 3 年の中山つぐみさんも入賞し、本校の同展での連続入賞記録を 16 年に伸ばしました。高知工業高校生の文部科学大臣賞は 2008 年以来、2 回目の受賞です。同展は、家具生産高日本一の福岡県大川市のインテリア産業振興センターの主催で、今年度の課題は「みんなが笑顔になれる家具」をテーマに全国から 157 点のデザインが寄せられ、創造性や機能性、表現力などが審査されました。



「文部科学大臣賞受賞」  
総合デザイン科 3 年 田中優花さん



「日本家具産業振興会会長賞」  
総合デザイン科 3 年  
中山つぐみさん



# 平成 30 年度 課題研究発表会

## 総勢 783 名の活気のある発表会に

課題研究は、3年生がこれまでの「専門分野の学習」や「イノベーションKT（探究型学習）」をふまえ、ものづくりや調査・研究・実験等の工業に関する課題を設定し、一年間をかけて課題解決に向けて取り組む研究科目です。この研究成果を整理し、分かりやすく発表することで、自己表現力やプレゼンテーション能力を培い、地域をはじめ広く県民の皆様にも参観していただくことで、本校ならびに工業教育への理解を深めてもらうことを目的としています。平成30年度は来賓事業所43社55名を迎え、姉妹校であります石川県立小松工業高等学校など総勢783名が参加する活気のある発表会となりました。次年度は、協力を頂きましたアンケートをもとに、より良い発表会を目指し準備を重ねたいと思います。

日 時 平成31年2月14日（木）12:00 開会式 15:45 閉会式

場 所 高知市文化プラザ かるぽーと 大ホール

- 研究発表
- (1) 合同研究「津波ガレキによる被害軽減に関する研究」
  - (2) 建築科「君の庭～(株)大和田組による中庭イノベーション～」
  - (3) 総合デザイン科「～県展への挑戦～（オブジェの制作）」
  - (4) 小松工業高校「ナイロン66の製作」
  - (5) 機械科「ゴーカートから学ぶ」
  - (6) 電気科「障害物回避ロボの製作」
  - (7) 情報技術科「ASMOSTA（アスモスタ）」
  - (8) 工業化学科「アルコール発酵」
  - (9) 土木科「高校生ものづくりコンテスト(測量部門)への取り組み」
  - (10) 2年生探究型学習代表「スライド式教科書立て」
  - (11) 1年生探究型学習代表「炭酸復活」

### 来賓・来場者一覧（昨年度より来賓者数が24名増）

高知県教育委員会1名、来賓事業所43社55名、石川県立小松工業高等学校7名  
中学校2校33名開かれた学校づくり推進委員1名、イノベーションKT推進委員1名  
本校同窓会役員2名、一般来場者・保護者15名、本校1・2年生参加数523名  
3年生発表者数54名、本校教職員91名

総計 783 名

## 平成30年度課題研究発表会アンケート結果（前年度比含む）

No.	質問内容	項目	平成30年度			平成29年度		
			未就業者 中学校他	一般未婚者 保護者他	本校生徒 1・2年生	未就業者 中学校他	一般未婚者 保護者他	生徒 (472名)
問1	発表内容はどうでしたか？	1. 大変よかった	83.3%	81.1%	62.7%	63.3%	73.0%	53.6%
		2. よかった	16.7%	18.9%	36.9%	36.7%	27.0%	45.7%
		3. ものたりない	0%	0%	0.4%	0%	0%	0.7%
問2	発表全体を通して発表者のプレゼン能力はどうでしたか？	1. 大変よかった	72.2%	64.9%		55.1%	40.5%	
		2. よかった	27.8%	35.1%		44.9%	59.5%	
		3. ものたりない	0%	0%		0%	0%	
問3	司会役の生徒の進行はどうでしたか？	1. 大変よかった	72.2%	58.3%		46.9%	48.6%	
		2. よかった	27.8%	41.7%		53.1%	48.6%	
		3. ものたりない	0%	0%		0%	2.0%	
問4	在校生の発表を聞く姿勢はどうでしたか？	1. 大変よかった	54.1%	46.0%		44.9%	48.6%	
		2. よかった	46.0%	48.7%		55.1%	45.9%	
		3. 悪かった	0%	5.4%		0%	5.4%	
問5	発表の時間（各科12分）はどうでしたか？	1. ちょうどよい	94.6%	88.9%	75.1%	89.8%	97.3%	75.4%
		2. 短いと思う	5.4%	8.3%	5.4%	10.2%	2.7%	4.9%
		3. 長いと思う	0%	2.8%	19.5%	0%	0%	19.7%



## 部活動の成績

### ◇全国大会出場

#### 陸上競技部

- ・令和元年度全国高等学校総合体育大会  
秩父宮賜杯第 72 回全国高等学校陸上競技対校選手権大会  
令和元年 8 月 4 日～7 日  
沖縄県沖縄市 タピック県総ひやごんスタジアム

#### 少林寺拳法部

- ・令和元年度全国高等学校総合体育大会 少林寺拳法競技大会  
令和元年 8 月 2 日～4 日  
宮崎県宮崎市 KIRISHIMA ツワブキ武道館

#### ボート部

- ・第 72 回朝日レガッタ  
令和元年 5 月 3 日～6 日  
滋賀県大津市 琵琶湖漕艇場
- ・令和元年度全国高等学校総合体育大会 ボート競技大会
- ・第 67 回全日本高等学校選手権競漕大会  
令和元年 8 月 16 日（開会式）～20 日  
熊本県菊池市斑蛇口湖ボート場

#### 水泳部

- ・2019 年度関西選手権水泳（飛込）競技大会  
令和元年 6 月 20 日～23 日  
大阪市大阪プール
- ・令和元年度全国高等学校総合体育大会  
水泳競技大会 飛込競技  
令和元年 8 月 17 日～20 日  
沖縄県那覇市 奥武山水泳プール
- ・令和元年度全国高等学校総合体育大会  
水泳競技大会 競泳競技  
令和元年 8 月 17 日～20 日  
熊本県熊本市 アクアドームくまもと

- ・第 74 回国民体育大会水泳競技大会  
令和元年 9 月 11 日  
茨城県潮来市 特設オープンウォータースイミング会場
- ・第 95 回（2019 年度）日本選手権水泳競技大会 飛込競技  
令和元年 9 月 19 日～23 日  
石川県金沢プール
- ・第 95 回（2019 年度）日本選手権水泳競技大会  
令和元年 9 月 21 日、22 日  
千葉県館山市北条海岸（鏡ヶ浦）

#### 自転車競技部

- ・令和元年度全国高等学校総合体育自転車競技大会  
令和元年 7 月 30 日～8 月 2 日（トラック）  
沖縄県総合運動公園自転車競技場

### ◇四国大会出場

#### ソフトボール部

- ・第 63 回四国高等学校ソフトボール選手権大会  
令和元年 6 月 15 日～16 日  
愛媛県松山市 松山中央公園運動広場  
※準優勝

#### 陸上競技部

- ・第 72 回四国高等学校選手権大会 陸上競技大会  
令和元年 6 月 15 日～17 日  
徳島県 鳴門競技場

#### 自転車競技部

- ・第 51 回四国高等学校自転車競技選手権大会  
令和元年 6 月 8 日（ロードレース）  
広島県中央森林公園  
令和元年 6 月 15 日～16 日（トラックレース）  
高松競輪場

### 水泳部

・第70回四国高等学校選手権 水泳競技大会

令和元年7月20日～21日（競泳）

令和元年7月21日（飛込）

香川県立総合水泳プール

### 少林寺拳法部

・第14回四国高等学校選手権大会 少林寺拳法大会

令和元年6月15日～16日

徳島県美馬市 うだつアリーナ

### バスケットボール部

・第72回四国高等学校バスケットボール選手権大会

令和元年6月14日～16日

高知県高知市 春野総合運動公園

### 卓球部

・第72回四国高等学校卓球選手権大会

令和元年6月15日～16日

高知県民体育館

・第47回全国高等学校選抜卓球大会 四国地区予選

令和2年2月2日

徳島県 徳島市立体育館

### 空手道部

・第27回四国高等学校選手権大会 空手道大会

令和元年6月15日～16日

香川県高松中央高校

### 登山部

・令和元年度四国高等学校登山選手権大会

令和元年6月14日～16日

高知県長岡郡大豊町梶ヶ森

### ボート部

第28回四国高等学校選手権大会 ボート大会

令和元年6月15日～16日

愛媛県今治市 玉川湖漕艇場

### 電気技術部

・第15回高校生ものづくりコンテスト四国大会（電気工事部門）

令和元年6月22日

高知工業高等学校

## 部活動紹介



### ◆ 昨年度創部 100 周年

1918 年（大正 7 年）に創部された本校野球部が昨年度創部 100 周年を迎えました。関連行事といたしまして OB 会により、100 周年記念誌の発刊をはじめ、記念式典や招待試合も企画していただき、盛大に挙行していただきました。

### ◆ 活動方針

過去 100 年の歴史を背負い、新たな 100 年へ向けて、守るべき工業魂は引き継ぎ、新しいものを積極的に取り入れる『イノベーションベースボール』をテーマに掲げています。自ら考えて行動できる、社会で役立つ人間形成を目指しながら四国大会・甲子園大会への出場を目標としています。

平日は木・金 2 日間のグラウンド使用に限られる本校の現状をプラスに捉えて、グラウンドを使用しない日に身体づくりへ取り組んでいます。部員全員が身長－（マイナス）100 の体重を目指しているため、練習中捕食用のお米などの寄付を求めています。



### ◆ 21 世紀枠初選出

昨年度、第 91 回選抜高校野球大会の 21 世紀枠高知県推薦校に本校が初選出されました。21 世紀枠とは、文武両道や困難克服などの推薦基準により各県から選出された四国 4 校から四国代表校を選び、全国 9 ブロックから 3 校が甲子園大会に選抜されるという制度になっています。

本校は特に、『模範的姿勢』という点で大いに評価をしていただきました。『負けても応援されるチーム』を目指して取り組んできた姿勢が評価されたことで、さらに選手たちの意識も高まり、新しい歴史を創ろうと前向きに取り組んでいます。

### ◆ 最近の主な戦績

2015 年度秋季大会	ベスト 4	2016 年度春季大会	ベスト 4
2016 年度選手権大会	ベスト 8	2016 年度秋季大会	ベスト 8
2017 年度春季大会	ベスト 8	2018 年度選手権大会	ベスト 8
2018 年度秋季大会	ベスト 8	2019 年度春季大会	ベスト 8
2019 年度秋季大会	ベスト 8		



# 自然科学部

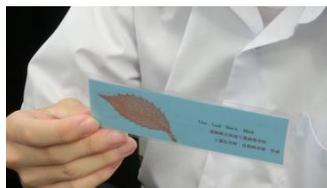
## ◆ 取組について

日常の不思議な自然現象や社会のために貢献できる技術に関心を持ち化学的なアプローチで放課後、コツコツと取り組んでいます。ここ数年は各種の発表会に積極的に参加しています。

その中でも、高等学校化学グランドコンテストがあります。化学分野では唯一の全国大会で、優秀な発表の10件は口頭発表を質疑も含め英語で行う非常に高いレベルのコンテストです。残念ながら、私たち自然科学部は選出されたことはありませんが、最終選考会のポスター発表に参加しています。全国の高校生と100以上のポスター審査で大学の先生方へのプレゼンテーションを行いそこから少しずつですがステップアップしてきたと思います。

また、全国高等学校総合文化祭自然科学部門、化学分野発表の部に2年連続で高知県代表として、全国大会に出場しました。残念ながら全国入賞は果たせませんでした。また、コツコツと頑張りたいと思います。

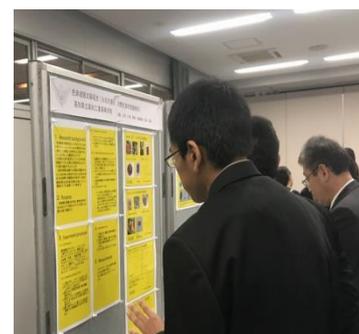
その他では高知工業のアピールを兼ねて書店にQRコード付きの葉の配布や本年の文化祭では、直径4mのドームシアターを夏休みから準備し、1日開催でしたが、100名以上の人に鑑賞していただきました。今後も地味ではあっても楽しく研究し楽しく発表していきたいと思っておりますので同窓会の皆様なにとぞ応援よろしくお祈りいたします。



## ◆ 近年の活動歴

### 平成 29 年度

- ・ 第 67 回高知県高等学校生徒理科研究発表会
- ・ 第 14 回高校化学グランドコンテスト  
最終選考会 ポスター発表
- ・ 高知県高等学校総合文化祭  
第 1 回自然科学部門発表会  
化学部門 優秀賞受賞



### 平成 30 年度

- ・ 第 42 回全国高等学校総合文化祭自然科学部門  
研究発表の部 化学分野 (長野大会)  
文化連盟賞受賞
- ・ 第 15 回高校化学グランドコンテスト  
最終選考会 ポスター発表
- ・ 第 68 回高知県高等学校生徒理科研究発表会  
努力賞受賞
- ・ 高知県高等学校総合文化祭  
第 2 回自然科学部門発表会  
化学部門 優秀賞受賞
- ・ 高大連携科学系研究フォーラム 2018 参加  
ポスター発表、大学教員、大学生、高校生との  
意見交換

- ・ オーテピア 高校生の日  
ポスター発表参加、来場者への研究発表
- ・ 地域の書店への手作りの葉配布  
(葉脈標本 300 枚 不定期に 100 枚ずつ)



## 令和元年度

- ・第43回全国高等学校総合文化祭自然科学部門  
研究発表の部 化学分野（佐賀大会）文化連盟賞受賞
- ・第69回高知県高等学校生徒理科研究発表会参加  
発表課題：バイオ燃料電池用イオン交換膜について（Ⅱ）  
奨励賞受賞
- ・第16回高校化学グランドコンテスト最終選考会 ポスター発表



### < PTA 教育講演会（キャリア講話） >

株式会社轟組

山崎 悠生 氏

令和2年1月9日

高知工業高等学校会議室

演台「高知工業高校定時制で学び」

### ・高知支部体育大会

令和元年10月13日

太平洋学園高等学校

男子バスケットボール部

### ・令和元年度第67回高知県定時制通信制高等学校体育大会

令和元年6月2日

高知工業高等学校

### ・高知支部体育大会

令和元年10月13日

高知商業高等学校

### <部活動>

バドミントン部

### ・令和元年度第67回高知県定時制通信制高等学校体育大会

令和元年6月2日

高知県立県民体育館

### ・高知支部体育大会

令和元年10月13日

高知商業高等学校

卓球部

### ・令和元年度第67回高知県定時制通信制高等学校体育大会

令和元年6月2日

高知県立県民体育館

### <各種コンテスト等>

#### ◇ 第14回測量コンテスト in 高知工科大学

令和元年9月8日

高知工科大学

#### ◇ 高知県定時制通信制生徒生活体験発表会

令和元年10月4日

高知市文化プラザかるぼーと

#### ◇ 建設技術展2019 近畿橋梁模型製作コンテスト

令和元年10月23～24日

大阪府大阪府中央区 マイドームおおさか

#### ◇ G空間 EXPO2019 測量コンテスト

令和元年11月28～30日

東京都江東区 日本科学未来館

打ち込み井戸（ポンプ設置）

◇ 第12回神戸市橋梁模型コンテスト

令和元年11月16日

兵庫県神戸市垂水区 橋の科学館

★ 外部講師活用事業

豊永刃物製作所 豊永 正界 氏

令和元年11月8日～令和2年1月10日

土佐打ち刃物製作

<各科の事業等>

★ 産業教育共同研究事業

高陽開発有限会社

玉木 大祐 氏 山中 隆昌 氏

令和元年12月3日～9日

★ 外部講師活用事業

株式会社豊栄電気工事 吉村 保利 氏

令和元年11月22日

講演会

本部より

1. 事業計画・経過報告

月	日	事業内容	月	日	事業内容
4	3	会計監査	10	19	小松工業高等学校80周年記念式典
	6	半世紀・四半世紀世話人会		26	剣道部OB会（剣友会）総会
	7	第1回常任役員会	11	9	次年度半世紀・四半世紀世話人会
	14	第1回理事会		10	静岡支部（静桂会）総会
	28	開校記念ゴルフ大会		16	土木科同窓会
	29	総会（ザ クラウンパレス新阪急高知）		24	嶺北支部（吉野川会）総会
5	7	高知工業高等学校開校記念講演	12	7	第3回常任役員会
6	19	幡多支部（波多愛工会）総会		21	第2回青年部会
	22	大阪支部（鯨工会）総会		24	『工業ハ富国ノ基』読書感想文優秀作品表彰
	29	野球部OB会総会		27	轟組高知工業OB会
7	5	第1回青年部会	1	26	青年部主催 筆山公園除草作業
	6	東海支部（南風会）総会			同窓会会報（第59号）発送
	13	物部川支部総会		4	同窓会入会式・記念品贈呈（定時制）
	28	第2回常任役員会		15	四電高知支部総会
9	7	同窓会・PTAによる就職模擬面接	2	同窓会入会式・記念品贈呈（全日制）	
		第2回青年部会		17	生徒と県外支部との懇談会
	21	安芸支部（芸工会）総会		18	課題研究発表会表彰
	28	バスケットボール部OB会		28	ジュニアマイスター顕彰制度表彰
10	12	東京支部（桂工会）総会 ※台風の為中止	3	1	同窓会通信の配布

※室戸支部（室戸鯨工会）総会は未定

## 2. 令和元年度役員

役職	卒年・科		氏名
名誉会長	昭和 53	情報技術	横畑 健
会長	昭和 45	土木	右城 猛
副会長	昭和 45	土木	吉良 勉
	昭和 53	インテリア	清水 真一
	昭和 54	土木	小松 雄二
	昭和 55	電気	森澤 昌三
	昭和 59	土木	宮崎 功司
	昭和 60	機械	北川 雅規
	昭和 60	機械	中野 耕喜
	昭和 63	電気	中尾 昭一
	平成 1	電気	二宮 昭喜
	平成 6	情報技術	寺川 湖砂
			池田 昌隆
			藤原 章弘
		今井 康浩	
監事	昭和 59	土木	岡田 雅吉
	昭和 59	電気	和田 環
事務局長	昭和 47	工業化学	中野 邦彦
事務局次長 (会計担当)	昭和 46	電気	矢野 元朗

副会長 清水真一様が令和元年 11 月 19 日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## 3. 同窓会支部組織

同 窓 会 組 織			
名称	役職	氏名 (卒年科)	連絡先
同窓会本部	会長	右城 猛 (昭 45 卜)	本部直通 TEL088-831-4133 kths2004dousoukai@leaf.ocn.ne.jp
	事務局長	中野邦彦 (昭 47 力)	
東京支部 (桂工会)	支部長	谷岡健吉 (昭 41 テ)	TEL080-7453-0801
	事務局長	岩崎友太郎 (昭 40 コ)	
静岡支部 (静桂会)	支部長	小川純一 (昭 37 キ)	TEL090-3302-6906
	事務局長	片岡 結 (昭 42 テ)	
東海支部 (南風支部)	支部長	松本幸平 (昭 53 キ)	TEL090-7857-8782
	事務局長	久保内大介 (昭 60 キ)	
大阪支部 (鯨工会)	支部長	堀田秀雄 (昭 43 卜)	TEL090-8385-3006
	事務局長	杉山康弘 (昭 61 ケ)	
室戸支部 (室戸鯨工会)	支部長	山本 總 (昭 54 卜)	TEL090-8975-9714
	事務局長	前田康司 (平 3 力)	
安芸支部 (芸工会)	支部長	黒岩良行 (昭 40 テ)	TEL090-8281-8292
	事務局長	山手敏和 (昭 49 テ)	
物部川支部	支部長	大窪和男 (昭 48 テ)	TEL090-9554-8708
	事務局長	岩村 隆 (昭 38 テ)	
嶺北支部 (吉野川会)	支部長	西村行雄 (昭 37 卜)	TEL090-5143-0481
	事務局長	川村博彦 (昭 51 キ)	
幡多支部 (波多愛校会)	支部長	福田 充 (昭 44 ケ)	TEL090-8696-7555
	事務局長	杉本一博 (昭 54 ケ)	

#### 4. インスタグラムを始めました

同窓会や母校の近況をお知らせしています。

高知工業高校同窓会 HP (kthsdoso.org) トップページからもアクセスできます。



#### 5. 業務時間について

本部にご用の方は、下記時間帯にお願いします。

平日 11:30~15:30 (水曜日・土・日・祝祭日を除く)

尚、HP からもお問い合わせが出来ますのでご活用下さい。

### 令和元年度ジュニアマイスター顕彰制度結果報告

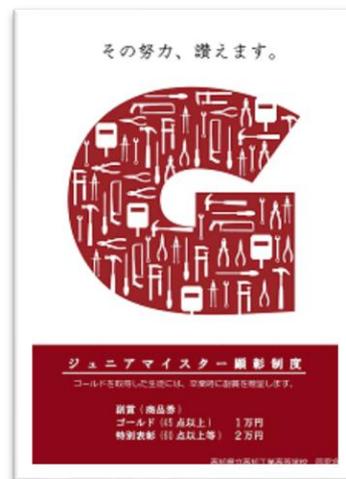
ジュニアマイスター顕彰制度とは、工業高校の生徒が、資格・検定の合格を通して身につけた知識・技術・技能を積極的に評価しようというものです。取得した資格や競技会の成績などに点数をつけ、その合計点により 『(社) 全国工業高等学校長協会』 が表彰する制度です。

ジュニアマイスター顕彰に係わる区分表による得点の合計が、30点以上であればジュニアマイスターシルバーの称号が、45点以上であればジュニアマイスターゴールドの称号が授与されます。

なお、60点以上、または特に優れた成果を有すると認められた場合には、特別表彰されます。

平成30年度から同窓会で支援しているジュニアマイスター顕彰制度の表彰式が令和2年2月28日(金)に行われました。

今年度は、特別表彰9名とゴールド46名が表彰され、同窓会から副賞が贈呈されました。



## 高知工業学校校歌

作詞 工業学校教諭 岡林 九敏  
校閲 早稲田大学教授 相馬 御風  
作曲 市第三小訓導 岡 寛

1. 鯨鯢吼ゆる南溟の  
怒涛逆巻く快天地  
万岳の翠北に負い  
ここに生れし健男児
2. 富国の基は工業の  
発展進歩にあるぞとて  
偉人の遺せし勲業ぞ  
我が学舎に輝ける
3. 火頭水身両翼の  
校旗の光燦として  
集える健児一千余  
向上の意気天を衝く
4. 学界彼岸は遠くとも  
勇往邁進たゆみなく  
造化の宝庫開き得て  
いざや尽くさん国のため

## 高知工業高校校歌

作詞 田村 司郎  
補作 校歌作成委員会  
作曲 平井 康三郎

1. 筆山のみどりに映えて  
城南の空 かがやく朝  
たくましき科学の力  
建設の息吹いさまし  
工業地帯  
わが学び舎の希望の窓に  
おお 雲が呼ぶ 雲が呼ぶ
2. 伝統の美風をまもり  
集う若人 こころは燃えて  
あたらしき技術を磨く  
この理想つねにかわらじ  
工業高知  
わが学び舎の薨の上に  
おお 虹が立つ 虹が立つ
3. 身をきたえ あこがれ清く  
羽搏かんいざいざ火水鳥  
たゆみなき生産の歌  
大空にひびけ とどろけ  
工業日本  
わが学び舎の誇りも高く  
おお 旗が鳴る 旗が鳴る



## 高知県立高知工業高等学校同窓会

〒781-8010 高知県高知市栈橋通2丁目11-6  
tel 088-831-4133 fax 088-831-4133  
e-mail: kths2004dousoukai@leaf.ocn.ne.jp

高知工業高校同窓会

検索